

2018 年度事業報告

公益財団法人 後藤喜代子・ポールブルダリ癌基金協会

I. 2018 年度事業活動の概要

① 授賞式

2018 年度（第 8 期）事業年度は、冒頭 4 月の授賞者発表に続き、5 月 15 日に第 6 回授賞式をフランス大使館公邸にて挙行し、授賞式前に記者会見を行いました。

② 論文募集告知活動

また財団活動紹介及び募集告知を更に強化し、募集案内を大学医学部 80 ヲ所、大学医学部呼吸器科等 514 ヲ所、がんセンター 20 ヲ所、がんセンター呼吸器他 115 ヲ所、がん拠点病院 326 ヲ所、疫学他 26 ヲ所の合計 1,081 ヲ所に送付しました。

③ 論文応募状況及び審査過程

7 月～9 月の募集期間を経て、10 月から一次選考、年明けから二次選考を行い、3 月下旬に第 7 回受賞者を決定しました。2018 年度の応募総数は 23 件と昨年の 19 件を上回りました。例年と異なり、公募開始直後の応募が多数見受けられました。

※参考（2012 年 16 篇、2013 年 8 篇、2014 年 18 篇、2015 年 25 篇、2016 年 16 篇、2017 年 19 篇）

④ 豊島区及び関連団体との連携による癌撲滅、癌治療に関する啓蒙活動

2018 年度の新規事業として一

(1) 豊島区等との連携による公開講座の開催

豊島区内で地域包括ケアや地域保健福祉の自主勉強会を主宰している「あうるへるすの会」との共催（後援：豊島区、豊島区医師会他）により、喫煙に伴い発症するリスクの高い心筋梗塞時の AED を使った心肺蘇生法普及のための公開講座を実施いたしました。

(2) 兵庫県を中心に AED の普及・啓蒙活動を行っている団体への助成

喫煙による心筋梗塞のリスク増大に留まらず、様々な場面で心停止に陥った際の初期処置として有効な AED を使った心肺蘇生が広まりつつある中、「健康スポーツ関連施設連絡協議会」が主催する「AED を使用した心肺蘇生法普及 500 人講習会（兵庫県播磨町）」の開催経費を補助いたしました。

Ⅱ. 第7回(2018年度)ポールブルダリ科学賞並びに同特別賞受賞者

「後藤喜代子・ポールブルダリ科学賞」

秋葉 直志氏 Tadashi AKIBA, MD. Ph.D.

学校法人 慈恵大学 理事

東京慈恵会医科大学附属柏病院 病院長

東京慈恵会医科大学 大学院医学研究科 呼吸器外科教授

【該当論文】

ビタミンDサプリメントと非小細胞肺癌の患者生存率:ランダム化二重盲検プラセボ比較試験

「後藤喜代子・ポールブルダリ科学賞 特別賞」

平塚(中村)佐千枝氏 Sachie HIRATSUKA-NAKAMURA, MD., PhD.

信州大学 医学部 分子医化学 教授

【該当論文】

肝臓で教育された B220⁺CD11⁺NK1.1⁺細胞は、肺の転移前ニッチ(土壌)を制御する。

Ⅲ. 理事会・評議員会の開催状況

第30回理事会 2018年5月22日

第31回理事会 2018年6月21日(みなし決議にて)

第16回評議員会 2018年6月21日

第32回理事会 2018年8月20日

第17回評議員会 2018年8月30日

第33回理事会 2018年11月8日

第34回理事会 2019年3月28日

以上